

多発性骨髄腫患者における

Kd 療法について

スケジュール

カルフィルゾミブ(カイプロリス®) 56mg/m² 30min d. i. v. day1, 2, 8, 9, 15, 16
(初回 day1, 2 のみ 20 mg/m²)

DEX(レナデックス®) 20mg/body d. i. v. day1, 2, 8, 9, 15, 16
40mg/body d. i. v. day22
(外来の利便性を考慮して day22, 23 分を day22 に 40mg d. i. v とする)

28 日毎

ガイドライン上の扱い

再発 難治性骨髄腫患者の対する
救援療法の一つ

治療効果

再発 難治の多発性骨髄腫患者において

Carfilzomib をボルテゾミブと比較した第Ⅲ相試験 (ENDEAVOR 試験)

N=929

Kd 療法 vs Bd 療法

PFS (無増悪生存期間) 中央値 18.7 ヶ月 vs 9.4 ヶ月
24 ヶ月 OS(全生存)率 72.2% vs 63.8%

副作用%(Grade3 以上)

Kd 療法 vs Bd 療法

貧血 22.9% vs 15.1%(7.6% vs 4.4%) 血小板減少 17.9% vs 14.7%(6.9% vs 8.1%)
下痢 14.9% vs 22.6%(2.2% vs 6.1%) 悪心 12.3% vs 9.9%(1.3% vs 0.7%) 便秘 4.5% vs 14.9%(0% vs 1.5%)
疲労 21.0% vs 21.5%(4.3% vs 5.7%) 末梢性浮腫 11.9% vs 9.4%(0.6% vs 0.4%)
高血糖 9.1% vs 7.5%(3.5% vs 2.9%) 筋攣縮 9.5% vs 4.2%(0.2% vs 0.7%) 頭痛 7.3% vs 3.3%(0.6% vs 0.2%)
末梢神経障害 5.6% vs 25.9%(0.9% vs 5.3%) 不眠 20.1% vs 21.1%(1.5% vs 2.2%)
呼吸困難 15.3% vs 6.8%(3.2% vs 1.5%) 高血圧 12.7% vs 3.5%(5.0% vs 1.1%)
心障害 7.1% vs 4.2%(5.0% vs 2.4%)

備考

- ・カルフィルゾミブについて
 - ・肝障害 7.1%:AST, ALT, ビリルビン等の上昇を伴う肝機能障害があらわれることがある
 - ・骨髄抑制:血小板減少 24.5% 貧血 21.5% 好中球減少 18.1%
 - ・心障害:可逆性心不全 2.7% 心筋梗塞 0.2% QT 延長 0.1%未満 心嚢液貯留 0.1%未満
 - ・腫瘍崩壊症候群 1.1%:
 - ・Infusion reaction(頻度不明):発熱、悪寒、関節痛、筋痛、顔面紅潮、顔面浮腫、嘔吐、脱力、息切れ、

低血压、失神、胸部絞扼感、狭心症